

1 常駐プログラムへの登録

fccRetriever.exe を常駐プログラムにする方法はいくつかありますが、File Create Checker ではタスクスケジューラに登録する方法を採用することとします。

1.1 タスクスケジューラに登録するには Windows XP では以下の手順で行います。

1.1.1 スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「タスク」でタスクスケジューラを起動します。



1.1.2 「スケジュールされたタスクの追加」をクリックし、「タスクウィザード」を開きます。タスクウィザードの設定手順は以下の通りです。

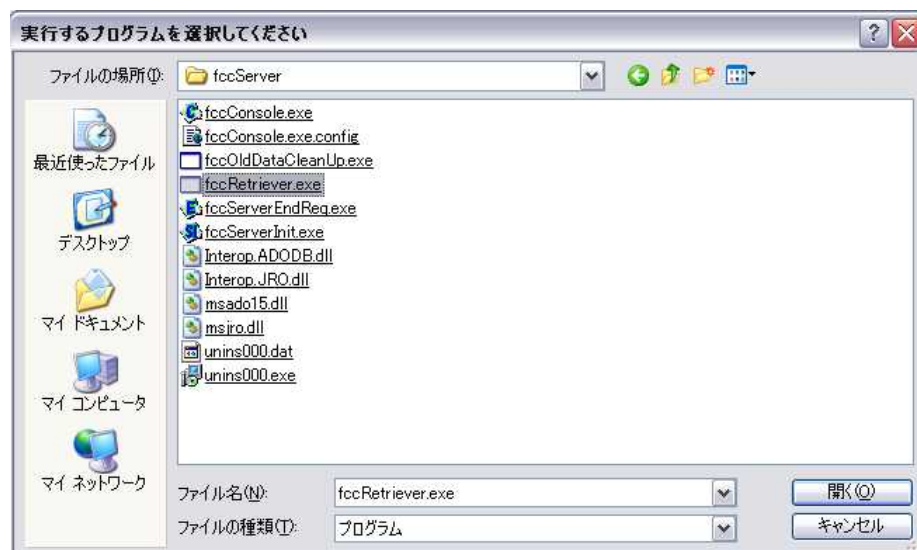


「次へ」をクリックします。

- 1.1.3 「参照」をクリックして、プログラムをインストールしたフォルダ（通常は C:\Program Files\fccServer）を開きます。



- 1.1.4 fccRetriever.exe を選択して「開く」をクリックします。



- 1.1.5 タスクの実行を「コンピュータ起動時」にして「次へ」をクリックします。



1.1.6 ユーザ名とパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



タスク ウィザード

ユーザー名とパスワードを入力してください。このユーザーが開始したもとしてタスクが実行されます。

ユーザー名(A): fccAdmin

パスワード(P): *****

パスワードの確認入力(C): *****

パスワードが入力されないと、スケジュール タスクが実行されない場合があります。

< 戻る(B) 次へ(H) > キャンセル

1.1.7 チェックボックスにチェックを入れ、「完了」をクリックしてタスクスケジュールに登録します。



タスク ウィザード

スケジュールされたタスク:

☐ fccRetriever

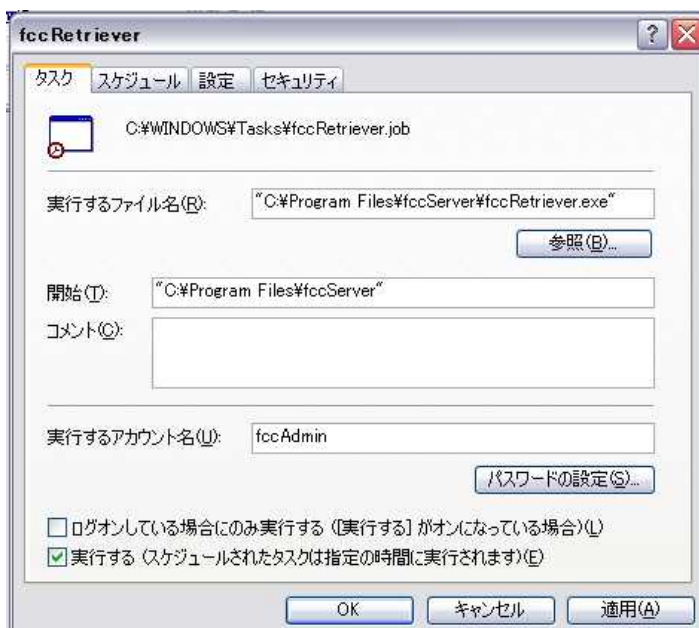
このタスクの実行予定時間は次のとおりです:
システム起動時

☒ 完了 をクリックしたときに詳細プロパティを開く(A)

完了 をクリックすると、このタスクがスケジュールに追加されます。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

1.1.8 「タスク」タグをクリックし、「実行する」にチェックが入っていない場合はチェックを入れます。



fccRetriever

タスク スケジュール 設定 セキュリティ

C:\WINDOWS\Tasks\fccRetriever.job

実行するファイル名(R): "C:\Program Files\fccServer\fccRetriever.exe"

参照(B)...

開始(I): "C:\Program Files\fccServer"

コメント(C):

実行するアカウント名(U): fccAdmin

パスワードの設定(S)...

☐ ログオンしている場合にのみ実行する (実行する がオンになっている場合)(L)

☒ 実行する (スケジュールされたタスクは指定の時間に実行されます)(E)

OK キャンセル 適用(A)

- 1.1.9 「スケジュール」タグをクリックし、タスクのスケジュールが「システム起動時」になっていることを確認します。

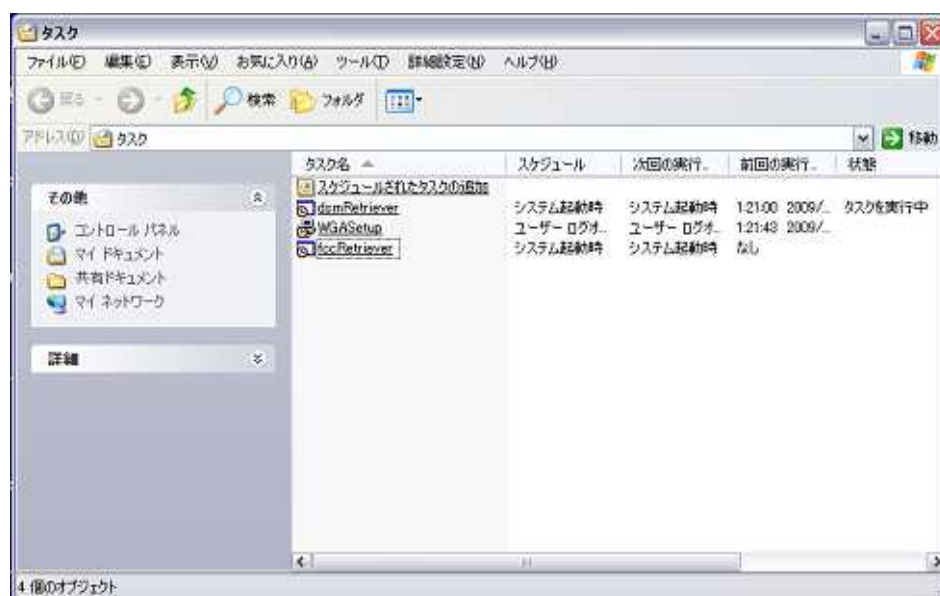


- 1.1.10 「設定」タグをクリックし、全てのチェックボックスをオフにします。



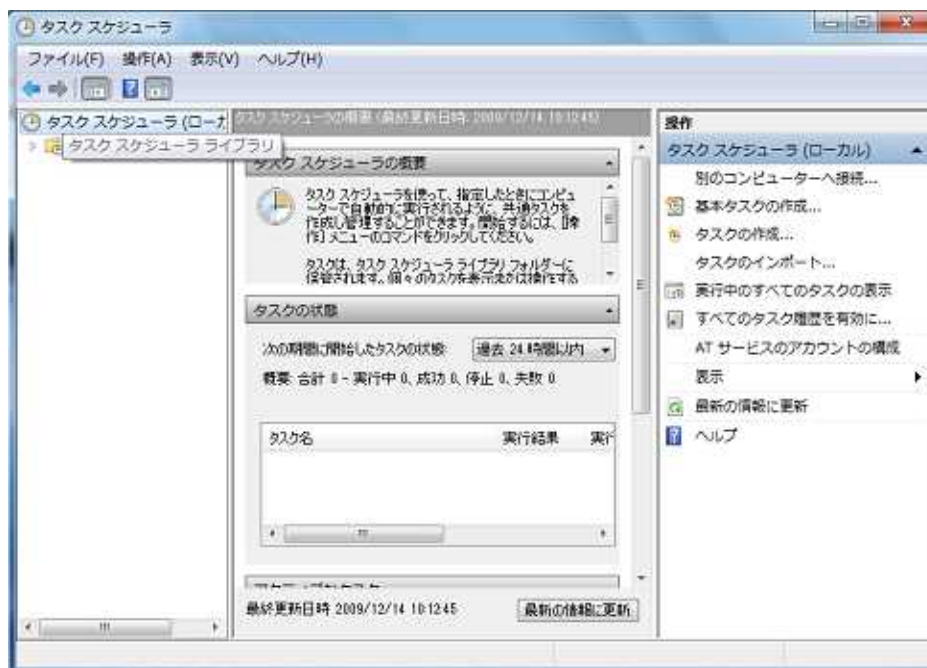
- 1.1.11 以上の作業が完了したら「OK」をクリックします。

1.1.12 「fccRetriever」が登録されたのが確認できますので、「fccRetriever」を起動するためにシステムを再起動します。

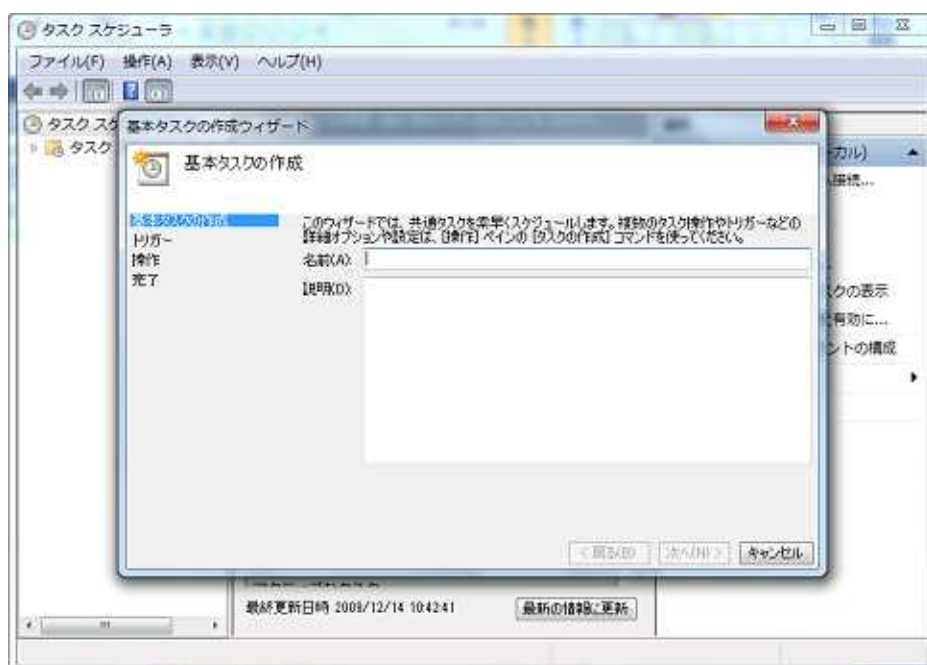


1.2 Windows 7 では以下の手順です

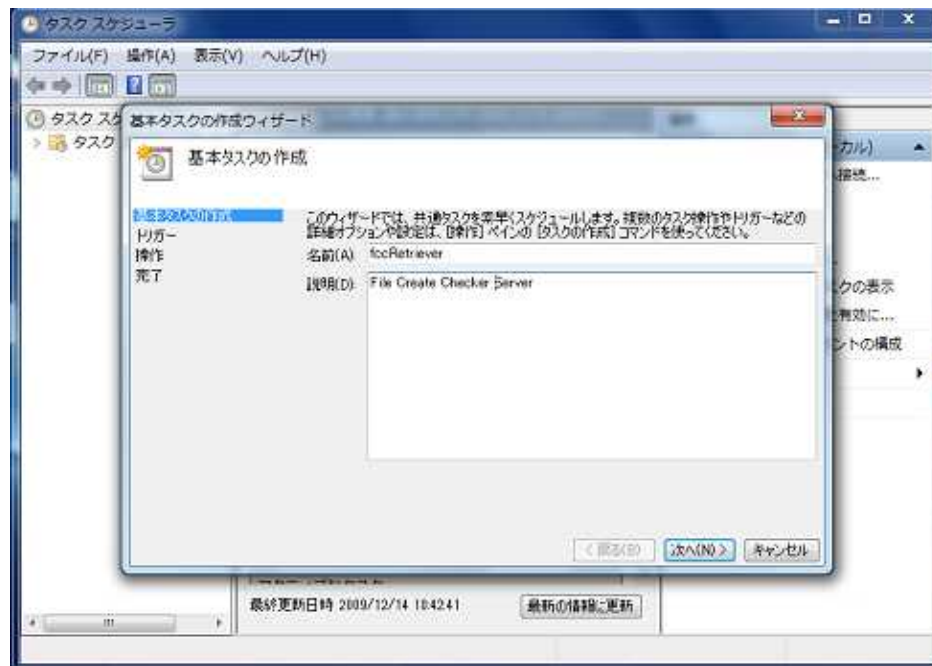
1.2.1 スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「タスクスケジューラ」でタスクスケジューラを起動します。



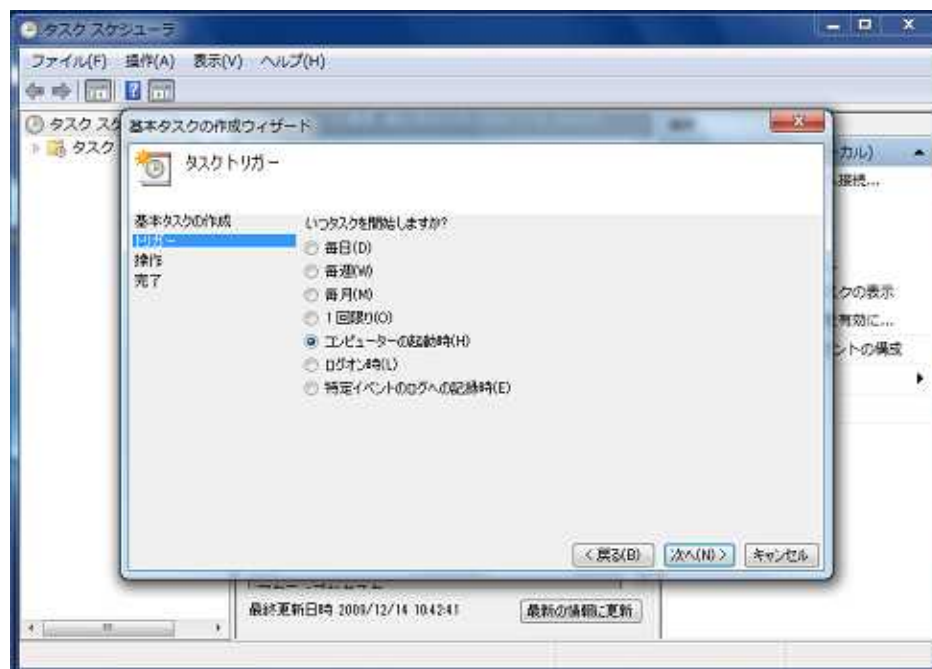
1.2.2 「基本タスクの作成」をクリックし、基本タスクの作成ウィザードを開きます。



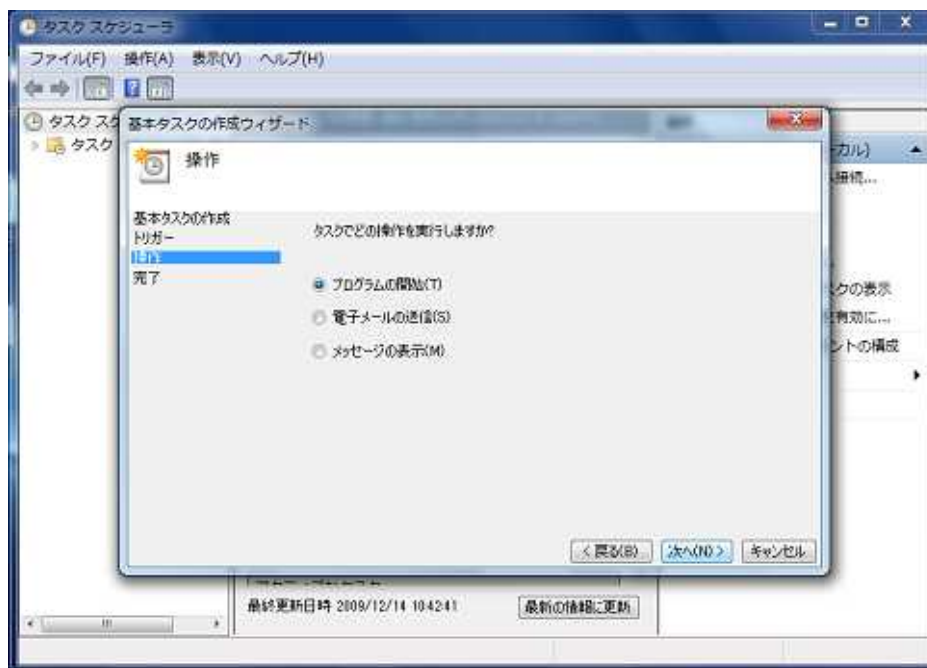
1.2.3 タスク名（例：fccRetriever）と説明を入力し、「次へ」をクリックします。



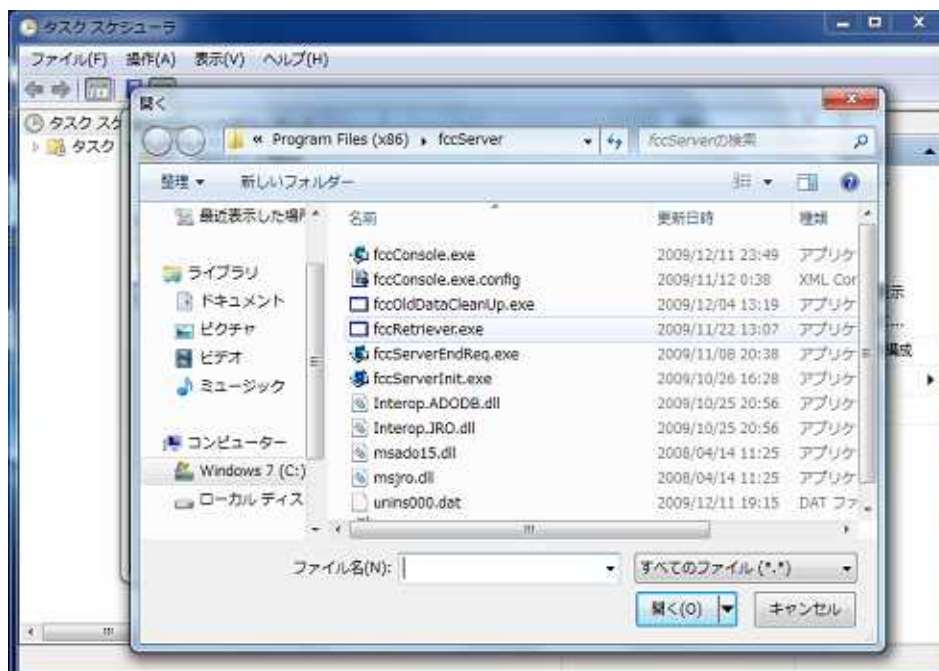
1.2.4 タスクトリガーを「コンピュータの起動時」に設定し、「次へ」をクリックします。



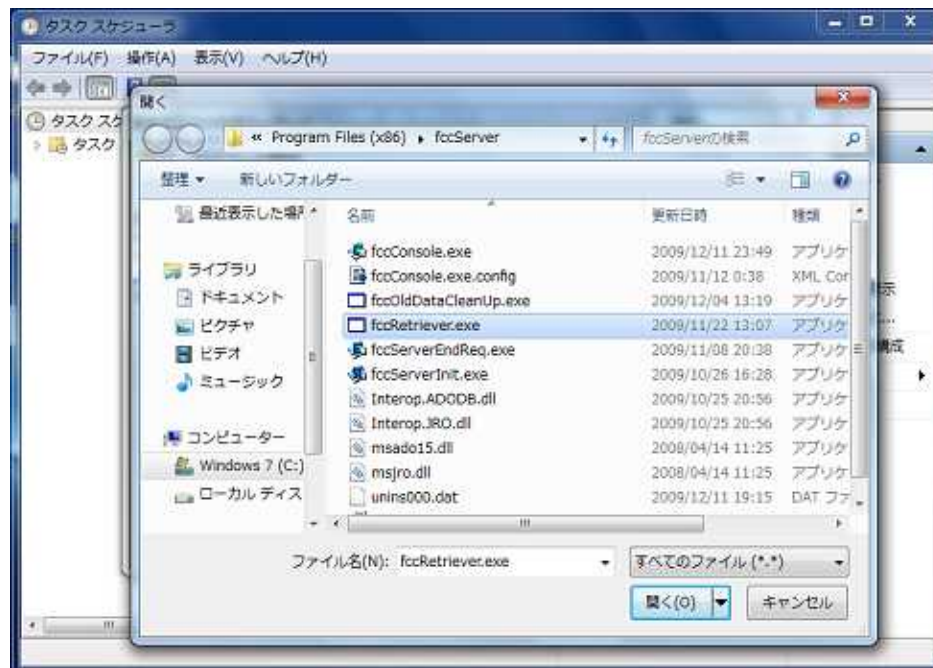
1.2.5 タスクの操作を「プログラムの開始」に設定し、「次へ」をクリックします。



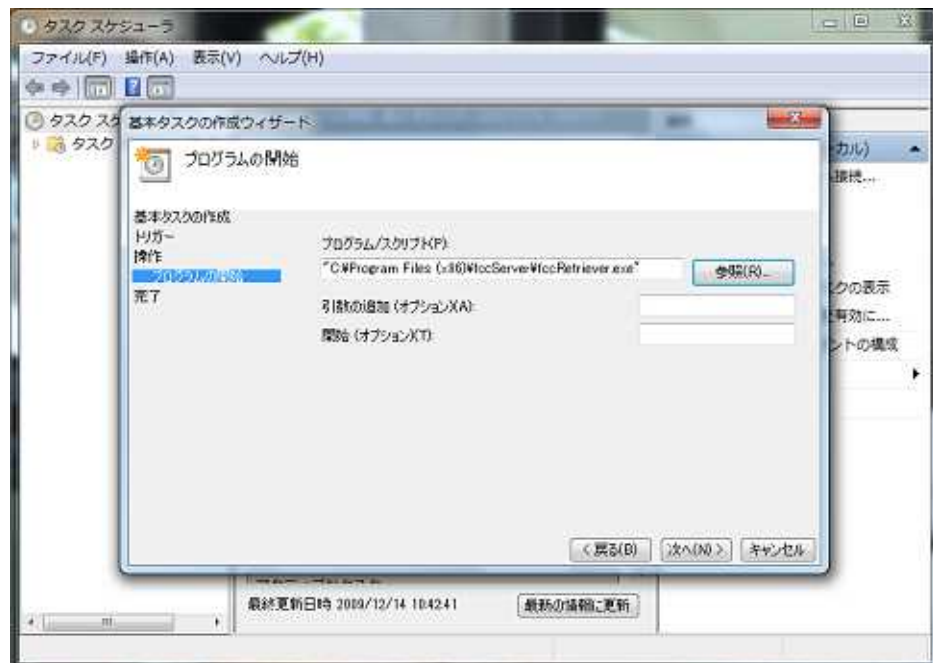
1.2.6 プログラムの開始画面の「プログラム/スクリプト」の右の「参照ボタン」をクリックし、プログラムをインストールしたフォルダ（通常は C:\Program Files(x86)\fccServer）を開きます。



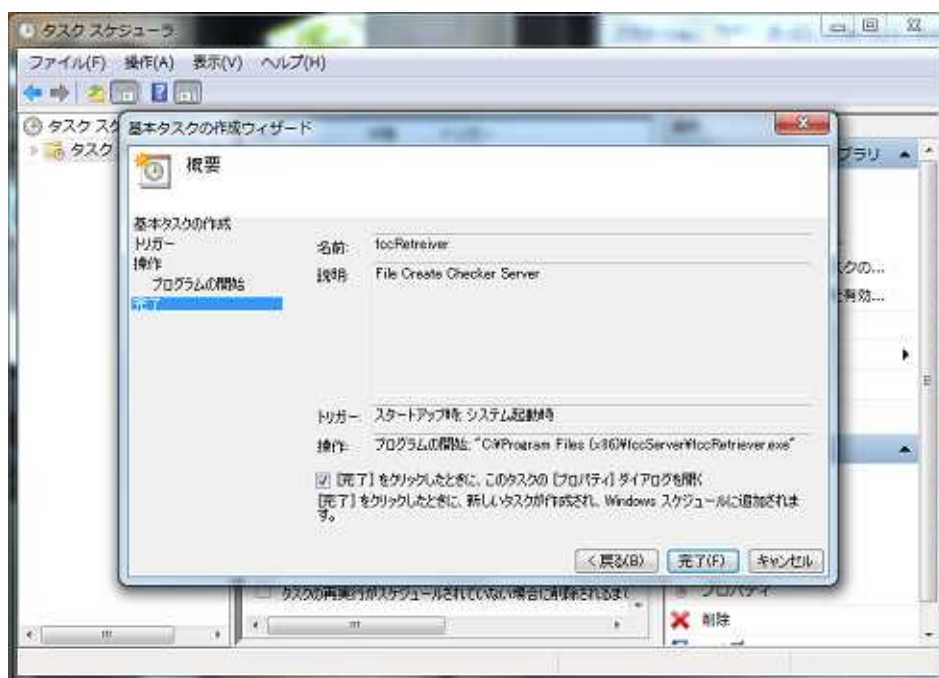
1.2.7 fccRetriever.exe を選択し、「開く」をクリックします。



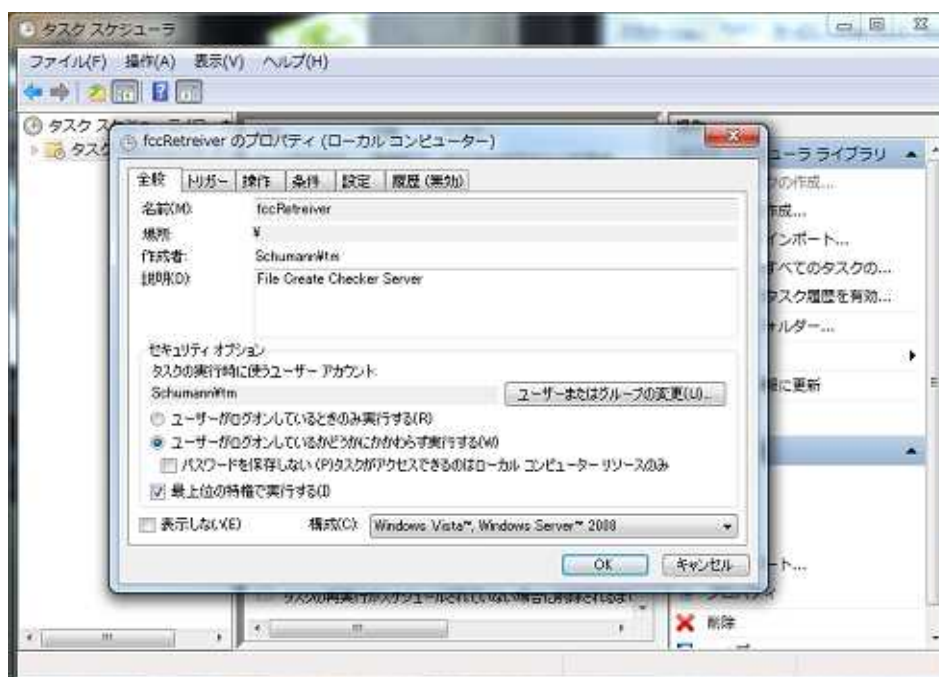
1.2.8 プログラムが選択されましたので「次へ」をクリックします。



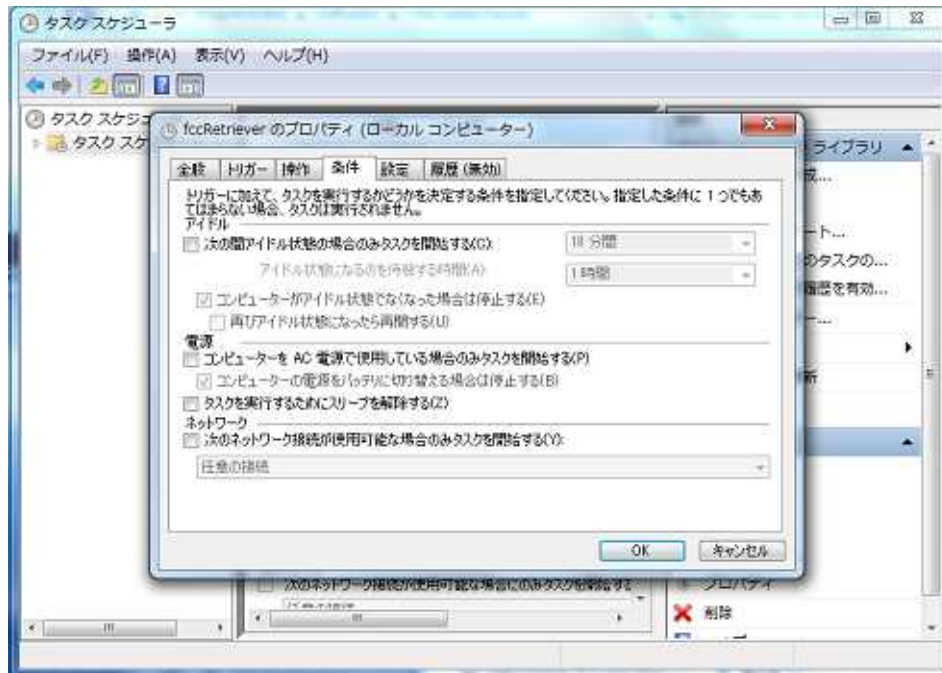
- 1.2.9 登録作業が完了しましたので『完了』をクリックしたときに、このタスクの[プロパティ]ダイアログを開く』のチェックボックスをオンにして『完了』をクリックします。



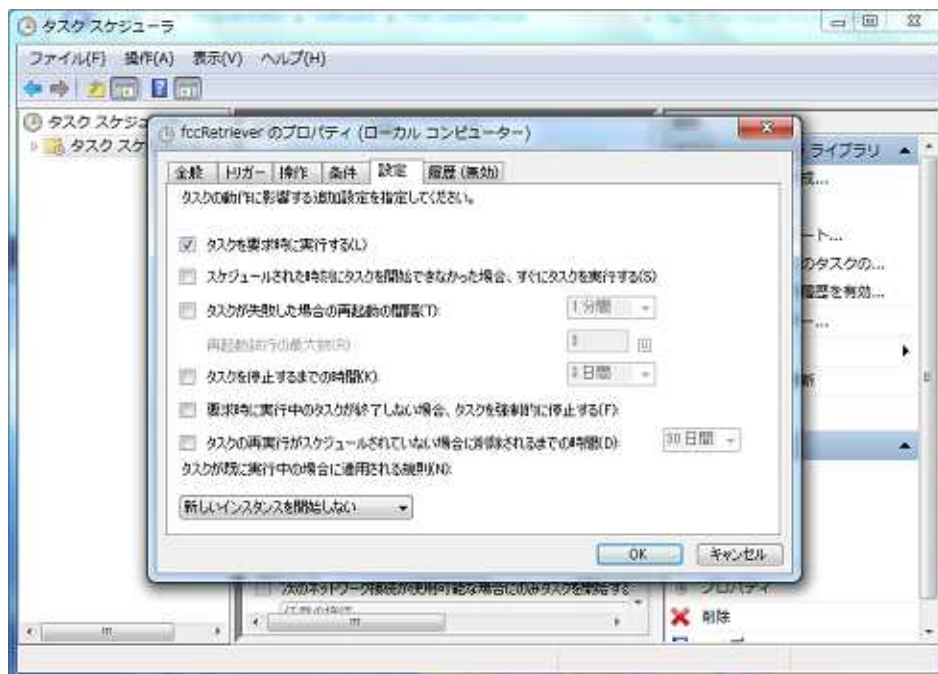
- 1.2.10 fccRetriever のプロパティが表示されますので、「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」のラジオボタンを選択し、「最上位の特権で実行する」のチェックボックスをオンにして「OK」をクリックします。



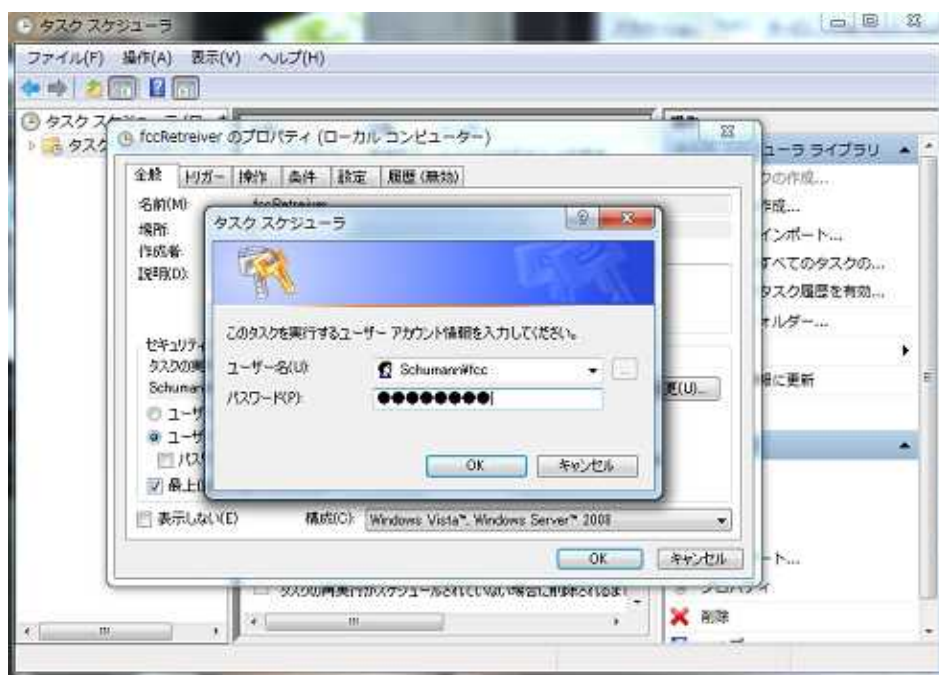
- 1.2.11 「条件」タブをクリックし、必要に応じてそれぞれのチェックボックスをオン/オフ（通常は全てオフで問題ないと思います）します。



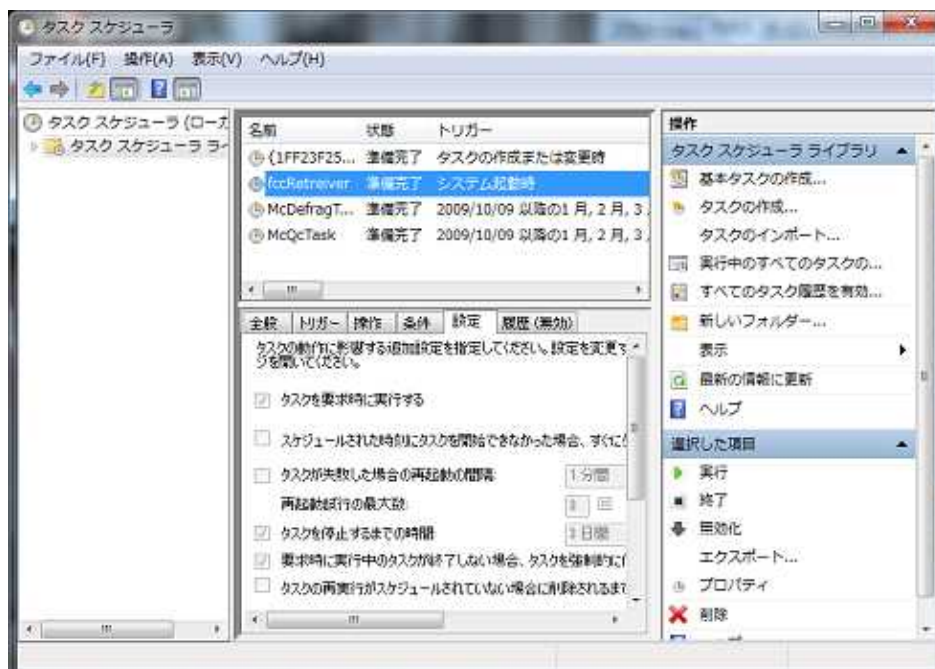
- 1.2.12 「設定」タブをクリックし、「タスクを要求時に実行する」以外のチェックボックスを全てオフにします。



1.2.13 タスクを実行するユーザアカウントを設定します。



1.2.14 タスクスケジューラに登録されたことが確認されますのでタスクスケジューラを終了し、「fccRetriever」を起動するためにシステムを再起動します。



2 常駐プログラムからの削除

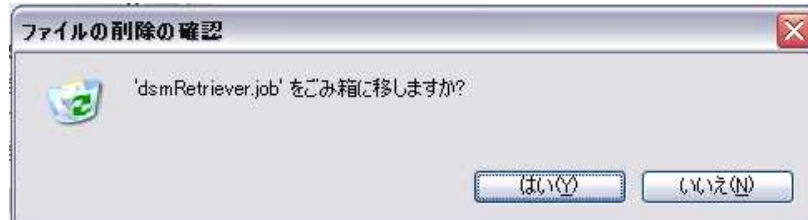
2.1 Windows XP では以下の手順です。

2.1.1 スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「タスク」でタスクスケジューラを起動します。

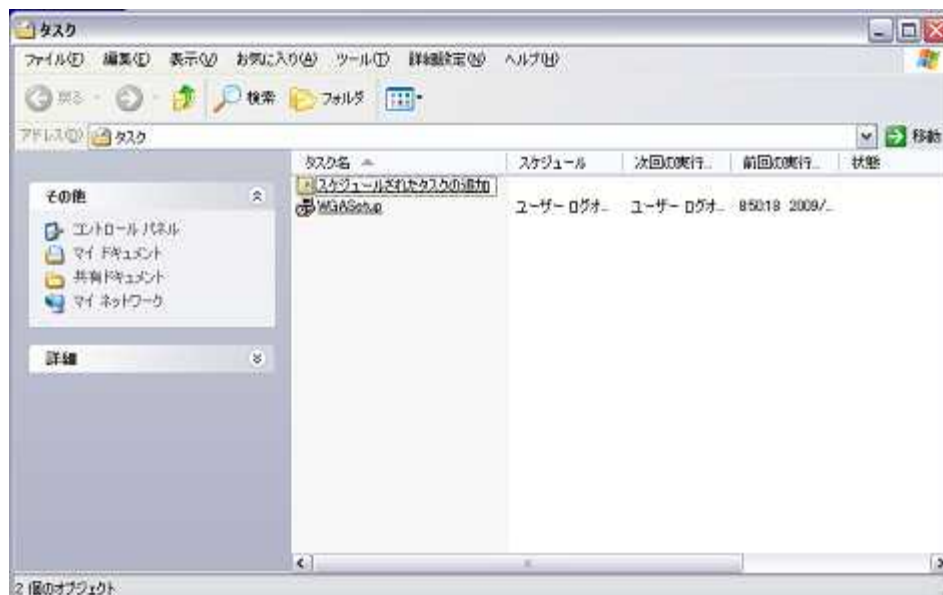
2.1.2 fccRetriever を右クリックしてドロップダウンメニューを表示し、削除を選択します。



2.1.3 確認メッセージが表示されますので「はい」を選択して削除します。



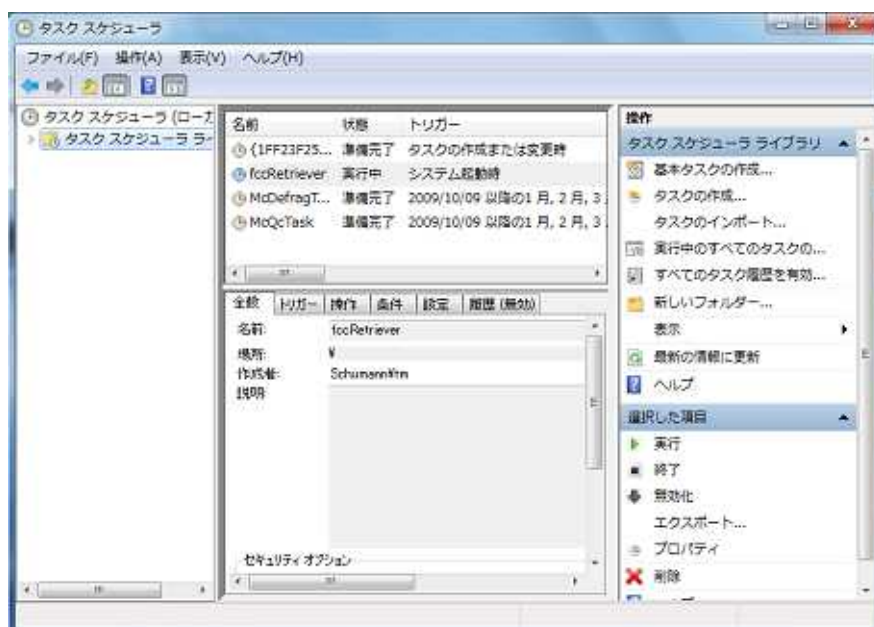
2.1.4 fccRetriever がタスクスケジューラから削除されます。



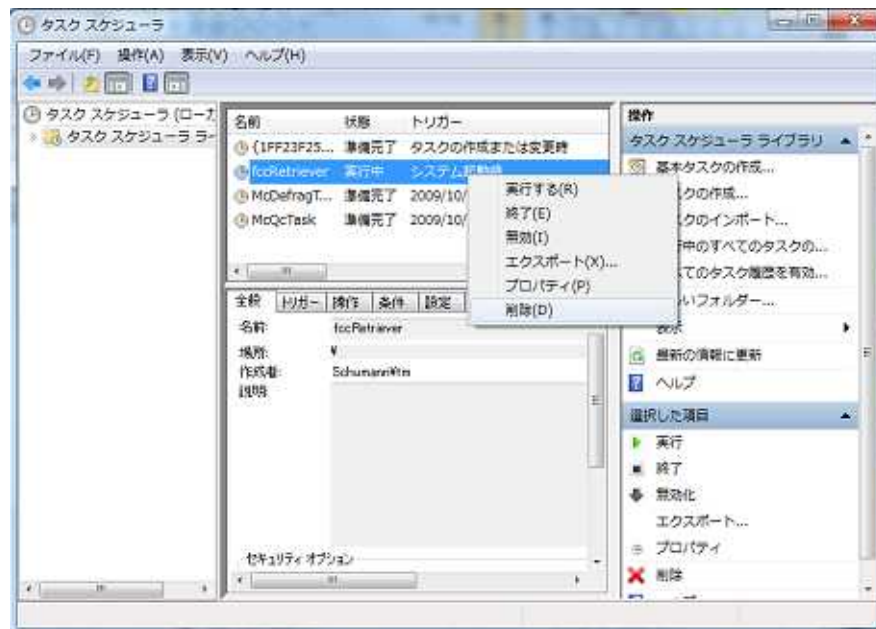
2.2 Windows 7 では以下の手順です

2.2.1 スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「タスクスケジューラ」でタスクスケジューラを起動します。

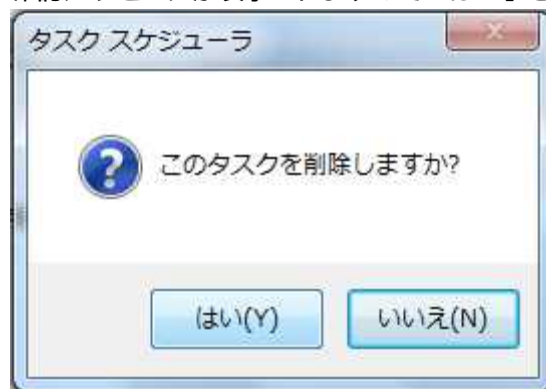
2.2.2 「タスクスケジューラライブラリ」をクリックし、登録されているタスクを表示します。



2.2.3 「fccRetriever」を右クリックしてドロップダウンメニューから削除を選択します。



2.2.4 確認メッセージが表示されますので「はい」を選択して削除します。



2.2.5 fccRetriever がタスクスケジューラから削除されます。

